

平成28年度 第3A1阿003号

市道川向井1号線 側溝改良工事

数 量 計 算 書

数 量 総 括 表					数 量	
工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	当初	
道路土工	作業土工			式	1	
		床掘	機械	m3	50	
		埋戻		m3	30	
	残土処理工			式	1	
		残土処理		m3	10	
排水構造物工	側溝工			式	1	
		U型側溝	RU-300A相当品 三重県リサイクル認定製品	m	79	
		U型側溝蓋 (RU-300相当品用) グレーチング 蓋 (タタイル)	志摩市マーク入, 細目 三重県リサイクル認定製品	枚	8	
		U型側溝蓋 (RU-300相当品用) コンクリート蓋	滑り止め加工 三重県リサイクル認定製品	枚	150	
舗装工	アスファルト舗装工			式	1	
		表層工	再生密粒度As13 t=40, 平均幅員1.4m以上	m2	119	
		表層工	再生密粒度As13 t=40, 平均幅員1.4m未満	m2	8	
		不陸整正工	t=30 粒度調整碎石 (M-30)	m2	69	
		路盤工	t=100 粒度調整碎石 (M-30)	m2	57	
構造物撤去工	構造物取壊し工			式	1	
		As舗装版切断	t=10cm以下	m	43	
		As取壊		m2	146	
		Co取壊	無筋Co	m3	3	
		As塊運搬		m3	6	
		Co塊運搬		m3	3	
	処分工			式		
		建設廃棄物受入料金	As塊	m3	6	
		建設廃棄物受入料金	有筋Co塊	m3	3	
道路附属施設工	雑工			式	1	
		間詰めコンクリート工	18-8-25BB	m3	0.5	
		インバートコンクリート工	18-8-25BB	m3	0.1	
仮設工	交通誘導警備員			式	1	
		交通誘導警備員	交通誘導警備員A	式	1	
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式	1	

道 路 土 工 数 量 計 算 書

[illegible]

数 量 計 算 書					
工 種	排水構造物工				
種 別	側溝工			数量	
名 称	計 算 式			当初	
U型側溝 (RU-300A相当品, 無騒音型,排水トレン 付, 三重県サイクル認定製	平面図より $L = 33.0 + 46.0 = 79.0$ (右) (左)			79	m
U型側溝蓋 (RU-300相当品用, ダクタイルグレースチング蓋 細目)	$N = 79.0 \div 10.0 = 8$			8	枚
U型側溝蓋 (RU-300相当品用, 滑り止め加工, コンクリート蓋)	$N = 79 \div 0.5 - 8.0 = 150$			150	枚

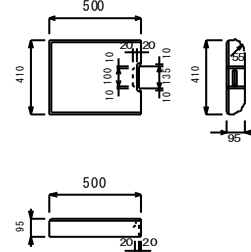
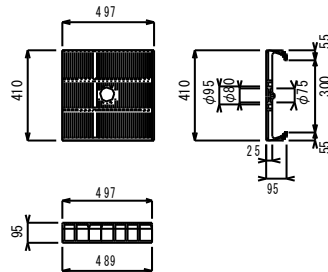
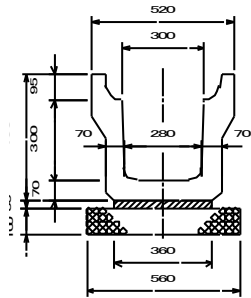
U 型 側 溝 300A

(10m当り)

U型側溝 RU-300A相当品
無騒音型・排水ドレン付
三重県認定リサイクル製品

ダクトイルグレーティング蓋 (RU-300相当品用)
無騒音型 三重県リサイクル認定製品
(志摩市草マーク入)

コンクリート蓋 (RU-300相当品用・滑り止め加工)
無騒音型 三重県リサイクル認定製品



名 称	計	算	単位	数 量
RU-300A 無騒音・排水ドレン付 (三重県リサイクル製品)	$N = 10 \div 2$	$= 5.0$	個	5
敷モルタル (1 : 3)	$V = 0.360 \times 0.030 \times 10.000$	$= 0.108$	m3	0.11
基礎碎石 RC-40 t=100	$A = 0.560 \times 10.0$	$= 5.600$	m2	5.60
床均し	$A = 0.560 \times 10.0$	$= 5.600$	m2	5.60
グレーティング蓋 (RU-300相当品用)	$N = 10 \div 10.0$	$= 1$	枚	1
コンクリート蓋 (RU-300相当品用)	$N = 10 \div 0.5 - 1.0$	$= 19$	枚	19

数量計算書

工 種	舗装工				
種 別	アスファルト舗装工			数量	
名 称	計 算 式			当初	
表層工 t=40 平均幅員1.4m以上 再生密粒度As13	舗装工数量計算書より A = 118.8			119	m ²
表層工 t=40 平均幅員1.4m未満 再生密粒度As13	舗装工数量計算書より A = 7.8			8	m ²
不陸整正工 t=30 粒度調整碎石 (M-30)	舗装工数量計算書より A = 69.3			69	m ²
路盤工 t=100 粒度調整碎石 (M-30)	舗装工数量計算書より A = 57.3			57	m ²

舖 装 工 数 量 計 算 書

[illegible]

舖 裝 工 數 量 計 算 書

[illegible]

数 量 計 算 書

工 種	構造物撤去工				
種 別	構造物取壊し工			数量	
名 称	計 算 式			当初	
As舗装版切断 t=10cm以下	平面図・横断面より $L1 = 0.89 + 7.00 = 7.9$ $L1: \text{No. } 0 \sim \text{No. } 0+7.0\text{m}$ $L2 = 2.38 = 2.4$ $L2: \text{No. } 0+7.0\text{m} \sim \text{No. } 0+12.0\text{m}$ $L3 = 1.50 + 22.00 = 23.5$ $L3: \text{No. } 0+12.0\text{m} \sim \text{No. } 1+14.0\text{m (右側)}$ $L4 = 2.31 + 6.00 + 0.89 = 9.2$ $L4: \text{No. } 2 \sim \text{No. } 2+6.0\text{m}$ $\Sigma L = 7.9 + 2.4 + 23.5 = 43.0$ $+ 9.2 = 43.0$			43	m
As取壊 t=40	構造物取壊し工数量計算書より $A = 146.3$			146	m ²
Co取壊 (無筋)	構造物取壊し工数量計算書より $V = 3.2$			3	m ³
As塊運搬	As取壊より $V = 146.3 \times 0.04 = 5.9$			6	m ³
Co塊運搬	Co取壊より $V = 3.2$			3	m ³

構 造 物 取 壊 し 工 数 量 計 算 書

[illegible]

数量計算書

工 種

仮設工

種 別

交通誘導警備員

数量

名 称

計 算 式

当初

交通誘導警備員A

$$N = 1.0$$

1

式

交通誘導警備員B

$$N = 1.0$$

1

式

[illegible]

交通誘導警備員数量算出表 市道川向井1号線 側溝改良工事

交通誘導警備員は、以下の日数を計上する。

工 種	名 称	規 格	施工数量	単位	日 当り 施 工 量	日 数	備 考
作業土工	機械床掘	平積0.2m3	50	m3			
	埋戻し	平積0.2m3	30	m3			
排水構造物工	U型側溝	L=2000,1000kg/個以下	79	m			
	U型側溝蓋	40kg以下	8	枚			
	U型側溝蓋	40kgを超え170kg以下	150	枚			
アスファルト舗装工	表層工	車道・路肩部 平均幅員1.4m以上	119	m2			
	表層工	車道・路肩部 平均幅員1.4m未満	8	m2			
	不陸整正工	車道・路肩部 平均幅員1.4m以上	69	m2			
	路盤工	車道・路肩部 平均幅員1.4m以上	57	m2			
構造物撤去工	舗装版切断工	15cm以下	43	m			
	舗装版直接掘削積込工	10cm以下	146	m2			
	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	3	m3			
道路付属施設工	間詰めCo	無筋構造物	0.5	m3			
計							

交通誘導警備員の計上区分は、昼間勤務(8:00～17:00)実働9時間(交代要員有り)とする。

交通誘導警備員数 A= 1人 × × 1.2 =

交通誘導警備員数 B= 1人 × × 1.2 =

＊計算方法

- 1、作業日数の計算は、少数第2位を四捨五入し、少数第一位止めとする。
- A : 交通誘導警備員単価
- 2、交通誘導警備員 (A) (B) の人数は、少数以下を切り上げ、整数止めとする。
- N : 配置人員